

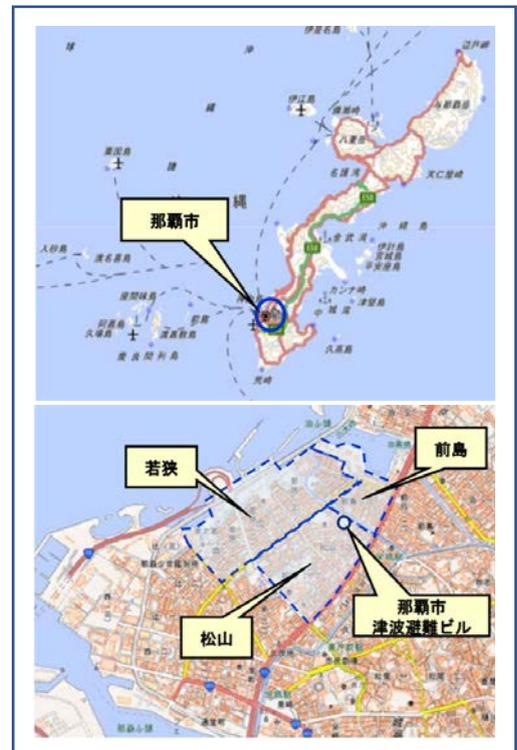
# 平成 30 年度地震・津波防災訓練 （内閣府・那覇市）

## 実施報告書 （概要版）

### 沖縄県那覇市について

沖縄県は、北緯 24～28 度、東経 122～133 度の南北約 400km、東西約 1,000km の海上に弧を描いて連なる 160 の島嶼の内、有人島 39 からなっている。その中でも那覇市（なはし）は最大の島、沖縄本島の南部に位置しており、西方に東シナ海を擁し南北及び東の三方は、他の市町村と隣接している。

那覇市地域防災計画によると、沖縄本島では、想定地震として市内で震度 6 強の「沖縄本島南部スラブ内地震」が想定されている。今回訓練を実施した那覇市の松山・若狭・前島 3 丁目地区には、平成 28 年に津波襲来時の避難施設として最大 2,000 人の避難可能な「那覇市津波避難ビル」が建設され、同施設を拠点として地域の絆で防災力を高める取り組みが行われている。



地図出典：国土地理院

## 訓練概要

- 訓練想定：11月3日（土）、午前9時00分頃、沖縄本島南東沖地震を震源とするマグニチュード8.8の強い地震が発生し、那覇市内は最大震度6強の揺れとなり、地震発生に伴い津波が29分に襲来することから、気象庁は午前9時02分に大津波警報を発表した。那覇港では最大5.7mの津波が午前9時33分に、港町では最大4.3mの津波が午前9時32分にそれぞれ到達した。
- 実施日時：平成30年11月3日（土） 9：00～12：00
- 実施地区：松山・若狭・前島3丁目地区
- 主催：内閣府、那覇市
- 参加者数：約150名
- 参加機関：地域自治会、那覇市消防団、NPO法人日本防災士会防災士会沖縄県支部、人も犬も猫も幸せな！街作り隊OKINAWA、NTTフィールドテクノ、防災事業者、沖縄気象台、沖縄県

## 訓練の評価

那覇市の訓練では、市内全域を対象に実施した「津波避難訓練」、山口大学瀧本浩一准教授による防災講話を、そして避難所開設訓練や応急救護訓練等の「体験型訓練」を、那覇市松山・若狭・前島3丁目地区において実施した。

当日は、大雨というコンディションのなか、市民や参加機関等合わせて約150名が訓練に参加し取り組んだ。さらに訓練実施後は、訓練参加機関による振り返り会議を開催した。その会議での意見や参加者アンケート結果等から訓練実施成果や、今後の知見を整理した。

### 【得られた成果、課題】

- 大雨等の悪い天候の中で地震・津波が到来した場合、避難時間が想定よりも長くなるため、より複合的な環境を想定する重要性が本訓練で確認された。
- 複数の一時避難ビルを周知していたが、特定の箇所に避難先が集中する可能性が本訓練で示唆された。
- 地域住民に「那覇市津波避難ビル」以外の一時避難ビルを周知するとともに、訓練への参加者を増やすための周知活動を行う必要がある。
- 津波避難訓練を実施するにあたり今回は休日に実施したが、啓蒙効果を高めるためにも、学校や企業等が参加しやすい平日の実施を検討する必要がある。
- 実際に津波が発生した場合、大津波警報が発令されて解除されるまでに1日以上かかることがあることも想定し、実際に避難ビルから24時間以上出られないときの対策等も具体的に検討していく必要がある。

### 【今後の対策案】

- 今後は、地域住民に近隣の一時避難ビルを周知するとともに、防災意識を高め、訓練への参加者を増やすためにも継続的に周知活動を行っていく。
- より具体性・実効性を高めるためにも、地区防災計画の作成、地域の防災リーダー育成等の取り組みを検討していく。

当日の訓練内容

9:00～9:30 シェイクアウト訓練、津波避難訓練の実施

那覇市による防災行政無線による訓練開始の合図とともに、松山・若狭・前島3丁目地区の市民を対象に、「自助」の実践としてシェイクアウト訓練を実施した。その後、同地区内で指定されている津波緊急一時避難ビル（7カ所）への避難誘導を行い、訓練を行った。

▼シェイクアウト訓練



▼津波避難訓練



9:30～10:00 一時避難ビルからメイン会場への移動、防災講演会

津波緊急一時避難ビルでの安否確認後に、メイン会場である那覇市津波避難ビルへ移動し、講師による防災講話を実施した。

▼メイン会場での受付



▼防災講演会



- 専門家（山口大学 瀧本浩一准教授）「地域防災の考え方とその活動について～来るべき地震・津波災害に備える～」

11:00～12:00 応急救護訓練、炊き出し訓練、展示 等

防災講演会終了後、メイン会場内で、展示、体験型訓練、応急救護訓練、炊き出し訓練を実施した。

▼避難所開設訓練

（段ボールベッドの組み立て訓練）



▼応急救護訓練（那覇市消防団）



- 展示  
人も犬も幸せな！街づくり隊 OKINAWA、NTT フィールドテクノ、沖縄气象台、沖縄県による展示を実施した。
- 体験型訓練  
那覇市消防団による応急救護訓練、段ボールベッドの組み立て、NPO 法人日本防災士会沖縄県支部による「作ろう防災」を実施した。
- 炊き出し訓練  
那覇市消防団により実施した。

▼展示



▼炊き出し訓練

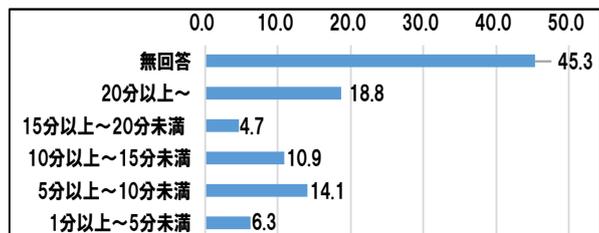


アンケート結果（一部抜粋）

参加した住民の方々に、防災意識や津波避難対策への取組状況等を把握するため、アンケート調査を実施した。（回答数：64人）

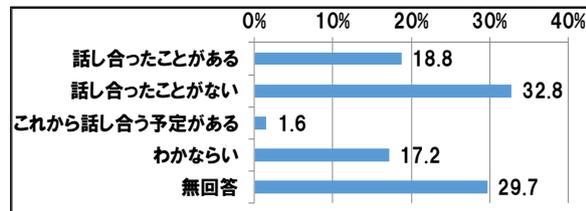
地震発生から津波避難所への避難は何分くらいかかりましたか。

（回答数=64）



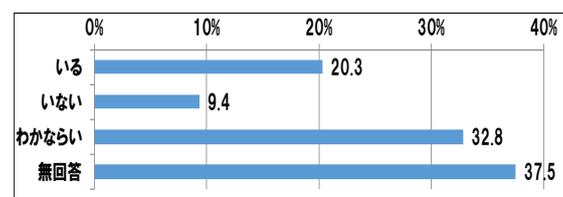
あなたの地域（自治会等）で「災害時の避難について」話し合ったことはありますか。

（回答数=64）



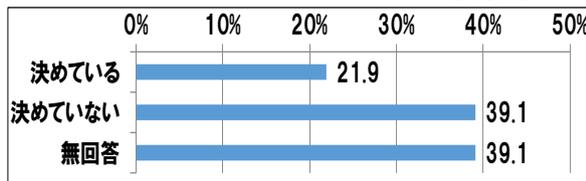
あなたの周辺には、「避難行動要支援者」がいますか。

（回答数=64）



災害時に、家族同士どのように連絡を取るか、家族の中で決めていますか。

（回答数=64）



■ 自由回答欄

- 講師の話が分かりやすかった。家でも地震・津波に備えようと思ういいきっかけになった。
- 今は地域に自治会がなく、このような訓練等もないのが現状であるため、小学校区内にこのような取組主体があるといい。
- 自主防災組織で避難計画を作成し、要支援者がいる場所を把握し、有事に備える必要があると感じた。
- 会社でもこのような訓練や講演を聞かせたいと思った。津波防災に関する情報がまとまっており、講師の瀧本先生のお話しもとても分かりやすかった。事実として受け止めようと思いました。
- 大変良かった。家族、会社等に持ち帰り活用したいと思う。
- 課題として、エリアによってはサイレンが聞こえない場所があった。また、すぐテレビ・ラジオ等で情報確認するよう日頃から市民に周知させるようにしてほしい。

